

令和4年11月定例会 総務委員会
令和4年12月14日（水）
〔委員会の概要 未来創生文化部関係〕

増富委員長

休憩前に引き続き、委員会を開会いたします。（13時16分）

これより、未来創生文化部関係の調査を行います。

この際、未来創生文化部関係の追加提出予定議案について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

【追加提出予定議案】（説明資料（その4））

- 議案第38号 令和4年度徳島県一般会計補正予算（第10号）

【報告事項】

なし

上田未来創生文化部長

それでは、総務委員会説明資料（その4）によりまして、明日、11月定例会閉会日に追加提出予定の未来創生文化部関係の案件につきまして、御説明申し上げます。

今回御審議いただきます案件は、令和4年度一般会計補正予算案でございます。

1 ページを御覧ください。

一般会計歳入歳出予算について、補正総額は、総括表一番下の計欄の左から3列目に記載のとおり8億3,958万4,000円の増額をお願いしておりまして、補正後の予算総額は、その右の欄のとおり201億3,760万7,000円となっております。

補正額の財源内訳につきましては、括弧内に記載のとおりでございます。

次に課別主要事項につきまして、御説明申し上げます。

2 ページを御覧ください。

次世代育成・青少年課でございます。

目名、児童福祉総務費の摘要欄①、アの児童養護施設等環境改善事業では、児童養護施設等における新型コロナウイルス感染症対策に係る経費として1,305万円を計上しております。

摘要欄②、アの徳島県出産・子育て応援交付金では、孤立感や不安感を抱きやすい妊婦、子育て家庭に対し、妊娠時から出産、子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を実施する市町村を支援するため、徳島県出産・子育て応援交付金を創設する経費として7億1,000万円を計上しております。

イの放課後児童対策事業費では、放課後児童クラブにおける新型コロナウイルス感染症対策に係る経費として2,066万6,000円を計上しております。

摘要欄③、アのこどもの安心・安全対策支援事業では、送迎用バスにおける安全装置設置の義務化を受けた対応及び登園管理システムや子供の見守りタグ等の導入に対して補助を行い、子供の安全を守るための対策を強化する経費として1,440万円を計上しております。

す。

イの児童等利用施設感染拡大防止対策事業では、希望する保育所等に抗原検査キットを配付し、職員への検査体制を強化することで、施設内へのウイルスの持込防止と早期の封じ込めを図るための経費として1,800万円を計上しております。

ウの多様な子育て支援推進交付金事業では、一時預かり保育等における新型コロナウイルス感染症対策に係る経費として2,520万8,000円を計上しております。

エのとくしま保育対策総合支援補助金事業では、認可外保育施設における新型コロナウイルス感染症対策に係る経費として3,140万円を計上しております。

オの保育環境向上支援事業では、保育所等における新型コロナウイルス感染症対策に係る経費として686万円を計上しております。

以上、次世代育成・青少年課の補正後の予算総額は128億6,578万3,000円となります。

3ページを御覧ください。

繰越明許費追加分についてでございます。

ただいま御説明いたしました補正予算のうち、8億2,158万4,000円について繰越明許費として設定をお願いするものでございます。今後、事業の早期執行に鋭意、努めてまいり所存でございますので、御理解を賜りたいと存じます。

以上が、今定例会に追加提出を予定いたしております案件でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

増富委員長

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

古川委員

今回、予算計上されてます、徳島県出産・子育て応援交付金事業について事業の概要をもう一度説明していただけますか。

高島次世代育成・青少年課長

この度の出産・子育て応援交付金でございます。事業の目的といたしまして、妊娠期から子育てまで一貫して、身近で相談に応じまして、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援を充実いたしまして、経済的支援を一体として実施する市町村の事業に交付金が創設されたものでございます。

これに伴いまして、国の出産・子育て応援交付金につきましては、令和4年度第二次補正予算におきまして、令和4年4月から令和5年9月までに妊娠、出産される方に対する支援の経費を計上いたしております。

また、令和5年度当初予算におきましては、令和5年10月から令和6年3月までに妊娠、出産される方に対する支援に係る経費が計上される予定となっております。

県におきましては、今回、令和4年度の第二次補正予算に対応するために、補正予算といたしまして7億1,000万円をお願いをしているところでございます。

古川委員

伴走型の相談支援と経済支援を併せてやっていくということなんですけど、もう少し詳しく、相談支援というのはどういう感じでやるのか、経済支援とはどういう感じでやるのかというのを教えてもらえますか。

高島次世代育成・青少年課長

まず、伴走型の相談支援でございます。

市町村の子育て世代包括支援センターの職員等が妊婦、産婦に対しまして面談を実施するものでございます。実施時期につきましては妊娠の届出時、また妊娠から8か月前後、また出産届出から乳児家庭の全戸訪問までの間の合計3回を予定しておるところでございます。経済的支援につきましては、まず妊娠届の提出時に5万円相当、また出生届提出後に5万円と、合計10万円相当を支援するものでございます。

古川委員

相談支援のほうは3回に分けてということだったんですけども、県内市町村の現状では、既に事業で面談されている実績があると思うんです。そのあたりの現状はどんな感じですか。

高島次世代育成・青少年課長

現状でも各市町村で相談に応じているということは認識いたしております。

ただ今回の補正予算に関して、まだ国から示されます要綱とか、自治体向けの説明会も11月22日に1回目がございまして、第2回目が12月中旬に行われる予定と聞いておりますが、その案内が今のところまだないような状況でございます。

伴走型支援につきましては、市町村が円滑に行えるよう、要綱とか説明会で十分な情報提供に努めてまいりたいと考えております。

古川委員

県の役割としたら全市町村がスムーズに、特に今年度はスムーズにできるようにサポートをしてあげてほしいです。ですから3回やるということであっても、既に各市町村にどれだけベースがあるのか、どこを上乘せしたらいいのかというポイントをしっかりと押さえ、細かく指導、技術的助言をしてあげてほしいなというのが1点です。

実施の資料を見ますと、今年の4月以降に妊娠又は出産された方ということですから、遡って経済的支援もできるということです。遡った場合は簡易アンケートの回答後に支給するということですね。今年度分は、とにかく経済的支援を充実して、来年度以降当然、いろんな相談支援もブラッシュアップしていかないかんと思います。支給方法もできるだけ現金じゃなくていろんな形で工夫してやっていくというふうなことが、多分、国からあると思いますが、今年度に関してはとにかく支給できるということを主眼に置いて、一回やってしまうと次年度以降変えるというのはちょっとハードルが高くなるんで、そのあたりは気を付けないかんと思うんですけども、できるだけ今年度はとにかく予算を執行

できるような形で助言をしてあげてほしいというのが一つ要望であります。

今回、今の部長の説明で分かりにくかったんですけど、この予算については全額繰越しを設定するという事でよろしいんですか。

高島次世代育成・青少年課長

繰越明許費は全額を設定させていただくものでございますが、国のほうは、支給については各市町村の準備ができ次第、1月から支給する予定と聞いております。できるだけ執行には努めてまいりたいと考えております。

古川委員

各市町村の12月定例会で、どれだけの市町村が予算計上できているのかというのもしっかり把握していただいて。3月議会になるところは、多分2年度分を一発にやらんとしようがないと思うんで、全額繰越しするところは二つの年を一緒に進めていけばいいと思うんです。年度内執行するようなところであれば、今言ったような経済支援をしっかりとできるような形で助言をしてあげてほしいなと思います。できたらこの12月定例会の現状とかも把握していただいて、12月定例会で予算計上できていないところは、できるだけ細かく個別にお願いとか技術的指導をして、できるだけ24市町村が漏れなくできるように、ちょっと汗をかいていただきたいなと思います。よろしくお願いたします。

増富委員長

ほかに質疑はございませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、未来創生文化部関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（13時30分）